

# イチゴを作って、ケーキを作って

氏名：池田菜摘

(令和3年度 園芸学科 花きコース卒業)

就農年	令和4年
就農形態	雇用就農
農業法人名	有限会社大地
経営品目	イチゴ、トマト



## 【農業大学校に入学したきっかけ】

私は小さい頃からモノづくりが好きで、将来は好きな植物を通じてモノづくりができる仕事がしたいと思っていました。最初は花屋さんになりたいと思っていましたが、高校で花を育てる楽しさを知って、花のことをもっと勉強するために農業大学校に入学しました。

## 【在学中の思い出】

入学直後は作物を育てる“生産”にしか興味がありませんでした。当初は、農業は「作物を作ったら市場に持って行くだけだ」と思っていました。経営に関するある授業で、自分で作ったものを自分の店で販売したり、加工をしたり、また調理したりといろいろな工夫をすることで、作物の商品価値を上げることができることを学びました。そのような展開が可能どころが、農業の面白いところなのだと考えるようになりました。



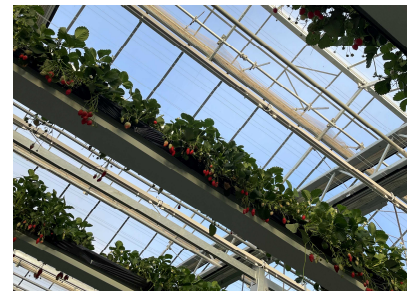
収穫したイチゴ

## 【就農を決意したきっかけ】

就職活動時に、農業の業界で自分が本当にやっていけるのかという考えが芽生え、不安に思うこともありましたが、しかし有限会社大地で話を聞く機会があり、この会社では最先端のスマート農業技術や6次産業化を今後徹底的に進めていくという話を聞いて、私はこれがやりたい、これこそが今の時代に必要な農業だと確信し、法人就農をめざす決意をしました。

## 【現在の取り組み】

有限会社大地では令和4年12月、リフト式のいちご狩り施設、『グランベリー大地』をオープンしました。さらに直営農場のイチゴでスイーツを作り、自社のカフェで販売するという、6次産業化にも取り組んでいます。自社で育てたイチゴのみを使用することにより、商品価値や自社のブランド力を高めています。私は現在、カフェ部門でパティシエを任されており、毎日美味しいケーキを作っています。



リフト式イチゴ栽培施設

## 【これからの夢や目標】

農業の「キツイ、汚い、危険」というイメージを変えて行くことが現在の目標です。そのために、最新技術やITを活用して、6次産業化やスマート農業を進め、「辛くて儲からない農業」を、「楽に儲かる農業」にしていきたいです。

## 【これから「農業を学びたい人」や「就農したい人」へのアドバイス】

「農業は大変そうだから、辛そうだから」と就農を迷っている人に対して伝えたいことは、そのような場面は確かにあるかもしれませんが、栽培などたくさん頑張ったあとに「収穫する瞬間の感動」

は何ものにも代え難いものだとは強く思っています。農業を目指す人は、自分が最初に作物を収穫した時の感動をずっと忘れないでいてほしいと思います。

そして、やりたいことがたくさんあって選択に迷っている人は、農業は幅広くまた大きな可能性を持っているのでぜひ挑戦してください。私も幼い頃に夢みていたパティシエにもなれました。何事にもチャレンジする勇気を忘れないでいてください。